

別紙

着ぐるみの装着等に関する注意事項

【服装について】

着用の際は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、頭には頭巾かタオル、長袖、長ズボン、白手袋、靴下等を着用すること。

【装着の順番】

- (1) きれいな軍手か手袋をして着ぐるみを扱う準備をする。
- (2) 汚れていない安定した場所に、顔と胴体を上にして内側の頭と体の正面の凸凹を合わせ、マジックテープで4箇所固定する。
- (3) 白手袋をしてから、手腕付き上着を着用し背中ファスナーを上げてもらう。
- (4) 靴下、長ズボンのまま、足の左右を確認してはく。
- (5) 手を出す穴に腕を通しながら、合体した頭と体をかぶる。原則、装着者を含め2名以上で装着すること。

【使用後の注意】

- (1) 脱いだ着ぐるみは、汚れていない安定した場所に静かに置く。(顔の正面は床側に向けて置かない。)
- (2) 着ぐるみ本体の内部や手腕付き上着に消臭スプレー等を使用して、風通しのよいところで陰干しし、白手袋は洗濯をして、十分に乾燥させてから返却すること。
- (3) 着ぐるみ本体に、やむを得ず汚れが付着してしまった場合は、きれいなタオルをお湯で濡らし固く絞ってから軽く拭き、十分に乾燥させてから返却すること。
ただし、付着した汚れが落ちない場合は、承認者がクリーニングを求める場合もある。

【装着者等の心得】

- (1) 着ぐるみの運搬及び装脱着の一切は、借受者の責任において行うこと。
- (2) 着ぐるみを汚損しないように細心の注意をもって取り扱うこと。
特に、雨天時及び降雪時、または、足下が濡れている場合は、屋外で使用し

ないこと。

- (3) 装着者は、可能な限り身長165cm前後から170cmまでの者が望ましい。
- (4) マスコットのイメージを保つため、着ぐるみ着用時は声を出さないこと。
- (5) 足(靴)の傷みの発生を防ぐため、普段歩く時と同じ感覚で歩かず、足を上げて歩くこと。
- (6) 公衆の面前での着脱は行わないこと。
- (7) 着ぐるみを着用することにより視野が狭まり、音声も聞き取りにくくなるので、安全対策のため、必ず介添者をつけること。
- (8) 会場の気温、天候等を考慮し、水分補給や頸部等の冷却など、十分な暑さ対策をすること。また、長時間着用する場合は、適宜休憩をとるなど、無理のない着用をすること。
- (9) 頭の近くに子供がいると危険なため、いきなり歩く、振り向く等、急な動作はしないこと。また、引っ張ったり、体当たりしてくる子供もいるので、介添者は優しくたしなめるなど、気を配ること。
- (10) 火気には十分注意すること。